

## ユネスコ地球規模の課題の解決のための科学事業信託基金拠出金

令和3年度予算額(案): 40,000千円(前年度予算額: 40,000千円)

## 目的

ユネスコジャカルタ事務所等が実施する科学関係事業に対して信託基金を拠出し、**我が国の科学分野における豊富な知見・経験を活かしながら、地球規模課題への解決及び持続可能な開発目標(SDGs)の達成へ貢献する。**

## ユネスコ科学事業を通じた協力プロジェクト

ユネスコ科学関係主要分野(防災、生物多様性、水分野、海洋等)における、アジア太平洋地域の域内政策形成、研究ネットワーク形成、能力開発・リーダー育成等の事業を実施。



## ○政策形成等支援

⇒効果的なSDGs推進のための科学事業間連携の促進主導  
・ステークホルダー会合開催→パイロットプロジェクトの実施→ICTを活用した科学プログラムの普及  
【実施例】地域固有資源の持続可能な利用に資する科学的知識の創出  
⇒河川データを基にした防災対策事例集の作成

## ○ネットワーク形成

⇒生物圏保存地域(ユネスコエコパーク)や水科学専門家によるアジア太平洋地域年次会合の開催

## ○能力開発・リーダー育成

⇒「国連海洋科学の10年」(2021-2030)実施計画を踏まえた取組を支援するため、ポストコロナでの海洋汚染(海洋ごみ、海洋の貧酸素化等)・海洋毒素に関する研修・ワークショップ等の開催(若手研究者の育成)

## Point ユネスコとの連携による事業推進

- ◆ 我が国の先進的な知見・経験の共有
- ◆ 日本人研究者・専門家の参画
- ◆ 国内ユネスコ活動への波及

## 期待される効果

- ・ポストコロナにおいて、アジア太平洋地域の多様な人々の連帯による、**能力開発・研究者ネットワーク形成が強化**されることにより、**重要課題に関する知識・対応ノウハウが普及し、地球規模課題の解決及びSDGs達成が促進**される。
- ・日本の知見を活かした共同プロジェクト推進等により、**日本と協働する次世代リーダーが育成**されるとともに、**日本の国際的な研究力が向上**する。
- ・ユネスコの政策形成、プロジェクト企画・実施において我が国の専門家とともに協力・支援することで、**我が国の国際協力に関する能力開発にも寄与**。

【科学事業間連携ワークショップ】

【能力開発研修】

